

あけぼのすぎ

都立府中療育センター新聞 第507号 発行日 令和2年2月1日

新年の御挨拶

院長 大島 哲

あけましておめでとうございます。

平成29年3月に着工した新センターが昨年12月に竣工し、いよいよ5月下旬には移転となります。昨年のラグビーワールドカップでの日本代表のスローガンにならい、当センターでも移転に向けてワンチームになって進めていきます。

新センターへは多摩療育園とともに移転します。お互いに療育施設として長い歴史を積み重ねてきた多くのものを礎にして、連携を図りながら円滑な事業開始を目指します。

また、施設運営では、日々の療育が重要になります。日常生活の中で医療安全や障害者虐待防止、院内感染防止などに積極的に取り組むことが療育・医療の質の向上につながります。

本センターの理念は、「質の高い療育・医療サービスを提供し重症心身障害児（者）の生活が豊かなものになるよう支援します」です。新センターでは、この理念を踏まえ、時代に求められている共生社会の実現に向けて権利擁護を意識した理念を掲げていく予定です。

新たな理念のもと、職員が結束力を発揮して進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



新春の会

1-A 穴沢 道晴

1-A病棟では、1月8日（水曜日）に新春の会を開催しました。

今年はフルートアンサンブルの「コスモス・ベアーズ」の皆さんをお招きして、楽しいコンサートを実施しました。会場にコスモス・ベアーズの皆さんが登場すると、いつもながらの華やかな衣装と素敵な笑顔で、会場は一瞬にして明るい雰囲気となりました。

演奏曲目は「聖者の行進」「ドレミの歌」「赤い靴」「七つの子」などの童謡や唱歌などで、きらびやかに輝くフルートの姿からは想像できない柔らかな音色で、皆さんがよく知っている曲を情感豊かに演奏していただきました。

今回はコスモス・ベアーズの皆さんの企画で、「シャボン玉」を演奏している時には職員がシャボン玉を飛ばし、「ドレミの歌」を演奏している時にはコスモス・ベアーズさんの指揮で、利用者の皆さんや職員が真剣な表情でハンドベルやトーンチャイムを演奏し、会場の皆さんも一緒に参加してとても楽しいコンサートとなりました。

今回も他病棟の利用者さんや、保護者の皆様も大勢参加していただきました。まだまだ寒い日が続きますが、この時期ならではの楽しみを見つけて、今年も元気に過ごしましょう！



初笑い会

2-B 星屋 聡子

2-B病棟では1月8日（水曜日）に、「劇団どろんこ座」の皆さんをお招きして初笑い会を開催しました。

病棟では、お正月の装飾や、新春にふさわしいピンク色に輝く「2020」の文字を書き込んだバルーン飾りを用意しました。

劇団どろんこ座のお二人が演じるミュージカル「3D紙芝居」は、歌を歌いながらストーリーに合わせて紙人形が動く「ペープサート」という紙人形劇で、「ペンギンの冒険」と「猫の小判」という二つの演目を見ました。歌に合わせて紙人形が踊る場面では、利用者さんの笑顔や集中して見ている姿が多くみられ、リズムに乗って身体を揺らす方もいました。

劇団どろんこ座の方はハッピーを着て、ギターや小太鼓の曲に合わせて小太鼓を鳴らしながら歌って踊り、お正月らしい雰囲気を感じることができました。アンコールでリクエストをし、「猫の小判」の歌と一緒に、みんなで鈴やマラカスなどの楽器演奏をして賑やかに盛り上がりました。

他病棟からの参加もあり、新年らしい楽しい初笑い会となりました。



新春おたのしみ会

2-A 紺野 あけみ



1月10日（金曜日）、新春お楽しみ会を実施しました。今年のお楽しみ会は、利用者さん一人ひとりの長所を5・7・5の俳句カードにしたものを天井から吊るし、カルタの要領でカードを取り合うものでした。

1回戦では利用者さんと職員と一緒に参加し、自分のカードが読み上げられた利用者さんからは歓声が上がったり、「我、先に！」と言わんばかりにカードに突進したりする様子があり、ハラハラ・ドキドキ・笑顔があふれていました。

2回戦では、職員全員が加わり、御家族の方やボランティアさんも参加され、真剣勝負をしました。腕まくりの鋭い眼差しで意気込みも強く、利用者さんも思わずにっこりしていました。

カルタ遊びを通して、お正月の雰囲気を感じることができました。



冬のコンサート

5-B 中河 由利子

1月17日金曜日、5-B病棟では「楽鼓会」さんをお招きして冬のコンサートを開催しました。楽鼓会さんは日本のお祭りや民族芸などを研究されているグループです。

初めに何が始まるのかなとわくわくしていると、獅子舞の演舞が始まりました。ステージで獅子舞が躍った後、利用者さんの近くまで行って、頭を噛んでもらいました。普段なかなかお目にかかれない立派な獅子舞の姿に、目を丸くして見ている方や、少し怖いと思ってじっと見ている方、大きい獅子舞が目の前に来ても動じずに「でん！」と構えている方や喜んでいいる方など、それぞれ、いろいろな表情をしていました。

獅子舞の次は和太鼓と笛の演奏です。ステージで演奏した後、利用者さんは小太鼓を鳴らしたり、笛の音色に合わせて大太鼓を叩く体験をさせてもらいました。太鼓を目の前でするとみんな興味津々で、「ドンドン」と鳴らすと表情がやわらぎ、楽しそうな様子でした。

最後は南京玉すだれの演技でした。旗の形や、東京タワー、レインボーブリッジ、柳など、いろいろな情景を作っていただきました。この演目もよく見て楽しんでいました。

普段なかなか見られない、お正月らしい獅子舞と和太鼓、南京玉すだれの演舞を見たり体験することができ、寒い冬の中、とても楽しい時間を過ごすことができました。



半日バスハイク

1-B 中島 千絵

12月19日（木曜日）、1-B病棟では半日バスハイクに行ってきました。

バスハイクは、参加される利用者さんのうち、お茶を楽しみたい方が多いときには喫茶を中心に、自分好みの服や品物を選んでショッピングを楽しむ方が多いときにはショッピングを中心に実施しています。今回はその両方の御希望が叶うよう、時間を有効に使えるよう考えて計画しました。

行き先は、以前は府中伊勢丹の上層階にあるレストラン街が車椅子でも入りやすく、喫茶をゆっくり楽しめる場所だったのですが、残念ながら去年の9月で閉店してしまったため、同じ府中の「ル・シーニュ」に行ってきました。ル・シーニュは大型バスが止められる大きな駐車場があり、雨天時でも移動に支障が無く、往復の移動時間を考慮しても買い物や喫茶を楽しめる時間ができる便利な施設です。

ル・シーニュに到着すると、まずは「エクセルシオールカフェ」に入って喫茶を楽しみました。お昼時には混雑してしまうので早めの時間帯に行ったのですが、利用者さん3名と付添いのスタッフがひとつに固まって席を取れる場所は見つかりませんでした。仕方なく分かれて席に座ろうとすると、座ったばかりと思われる女性客の方が移動していただき、「ここにどうぞ」と席を譲ってくださいました。優しい心遣いにより、バラバラに座ることなくお茶を楽しむことができました。それぞれの好みのケーキや飲み物を注文し、病棟ではなかなか味わえない甘いひとときを楽しみました。

喫茶の後はショッピングに行きました。ふりかけやコーヒーなど、お目当ての物を探しに食品売場へ移動しました。数ある飲み物やふりかけの中から好みの物を選んで購入し、買い物も楽しむ事ができました。

外は曇っていて雨の予報もありましたが、屋内の駐車場だったため雨や寒さを気にせずにバスへの乗り降りができ、予定通り帰路につきました。帰りのバスの中はカラオケボックスと化し、都はるみさんの曲を利用者さんが最後まで一人で歌いきり、楽しいバスハイクとなりました。

喫茶店で席を譲ってくださった優しい女性の方や、店員さん、マイクロバスの運転手さん、御協力どうもありがとうございました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>